

2017年9月28日発行
NO.1636

タイヤ生産体制における能力増強について

東洋ゴム工業株式会社(本社:兵庫県伊丹市、社長:清水隆史)は、米国およびマレーシアのタイヤ製造工場の生産能力を増強しますのでお知らせいたします。



米国タイヤ工場(ジョージア州)



マレーシアタイヤ工場(ペラ州)

当社は現在、2017年を起点とした新たな中期経営計画「中計'17」のもと、タイヤ事業においては、北米市場での商品力強化と増販に向けたさらなる体制強化をはじめ、市場動向に応じた商品ミックスの最適化、驚きのある商品を提供する開発力・技術力の進化、ブランド力の向上と効率的な供給体制の構築といったテーマを掲げて、事業経営を推進しています。

各市場ニーズや販売動向に応じて機敏かつ柔軟に対応できる供給体制は当社の強みの一つであり、供給戦略においては、各生産拠点のキャラクターを明確にしながら、グローバル物流基盤や供給コンビネーションを最適化する生産・供給体制の構築に取り組んでいます。

今回、中計'17の事業戦略に基づき、当社収益の主軸である北米市場向けの生産拠点・米国タイヤ工場(ジョージア州)、及びグローバル供給のハブ機能を担う生産拠点・マレーシアタイヤ工場(ペラ州)において、それぞれ、既存工場敷地内に新たな工場建屋の建設と生産設備の導入を行ない、さらなる生産能力の向上を図ります。

当社は、タイヤ事業において2020年度の売上高を2016年度実績比31.6%増となる4,000億円、営業利益を同23.3%増の560億円とする業績目標を中計'17で掲げています。今回の生産能力増強計画は、当社のタイヤ事業方針に掲げる「利益極大化に向けた事業基盤の強化」の実現に向けた施策の一つとして位置づけるもので、当社が競争優位性を有するピックアップトラック/SUV/CUV用を中心とした大口径タイヤの供給体制をさらに強化するものです。

■グローバルタイヤ生産体制の能力増強計画

1) 米国タイヤ工場の生産能力増強(第5期)について

米国タイヤ工場(ジョージア州、Toyo Tire North America Manufacturing Inc. :以下 TNA)に約140億円を投じて、年産240万本規模(乗用車用タイヤ換算)の生産能力を有する新たな建屋を建設し、第1段階として、まずこの1/2である年産120万本(乗用車用タイヤ換算)のタイヤ生産に必要な設備を導入、2019年4月より稼働を始める予定です。

2) マレーシアタイヤ工場の生産能力増強(第2期)について

マレーシアタイヤ工場(ペラ州、Toyo Tyre Malaysia Sdn Bhd:以下 TTM)に約210億円を投じて、年産480万本規模(乗用車用タイヤ換算)の生産能力を有する新たな建屋を建設し、第1段階として、まずこの1/2である年産240万本(乗用車用タイヤ換算)のタイヤ生産に必要な設備を導入、2019年10月より稼働を始める予定です。

3) 新生産拠点の検討について

当社は2020年以降の持続的成長も見据え、中計'17において、グローバル市場への供給を念頭に置いた新生産拠点の検討を行なっています。上記既存工場での生産能力の増強と並行し、引き続き、さまざまな可能性を視野に入れて、この計画の実現に向けた検討を進めてまいります。

■能力増強を行なう2工場の概要について

1) 米国タイヤ工場(TNA)について

所在地	アメリカ合衆国 ジョージア州バートウ郡
設立年月	2004年6月(2005年12月工場完成、同月より稼働)
事業内容	乗用車用、ライトトラック用ラジアルタイヤの製造
代表者	Donald C Bunn
資本金	150百万米ドル
資本構成	東洋ゴム工業株式会社 100%出資(連結子会社)
土地面積	150エーカー(約607,000㎡)

TNAは、高度に自動化した当社独自のタイヤ製造工法「A.T.O.M.」(Advanced Tire Operation Module)を全面的に導入し、ピックアップトラック/SUV用ライトトラックタイヤを中心とした大口径タイヤを生産、北米市場に供給しています。ライトトラックタイヤに対する北米市場での旺盛な需要増大に対応するため、これまでTNAでは4期にわたって段階的に生産能力を増強し、2016年秋には年産1,150万本(乗用車用タイヤ換算)の生産能力を有する当社最大のタイヤ生産拠点となりました。現在、20インチ以上のピックアップトラック/SUV用ライトトラックタイヤ(W-LTR)における当社の市場シェアは、北米でトップの約40%*となっています。 *当社調べ

2) マレーシアタイヤ工場(TTM)について

所在地	マレーシア ペラ州タイピン
設立年月	2011年4月(2013年5月工場完成、同月より稼働)
事業内容	乗用車用、ライトトラック用ラジアルタイヤの製造
代表者	Mike Toh
資本金	400百万マレーシアドル
資本構成	東洋ゴム工業株式会社 100%出資(連結子会社)
土地面積	120エーカー(約485,000㎡)

TTMは、東南アジアのみならず、欧州や日本、北米など世界市場に供給するグローバルハブ機能を果たしています。TNAでフル活用している当社独自のタイヤ製造工法「A.T.O.M.」の要素技術を導入し、ユニフォーミティに優れた高品質かつ高性能な付加価値の高いタイヤを生産・供給しており、マーケットから高い評価を得ています。現工場棟は年産500万本(乗用車用タイヤ換算)の生産能力を有しており、これに隣接して同規模の工場棟を建設できる敷地を予め取得しています。

*ユニフォーミティ:寸法のほか、重量や剛性といったタイヤに求められる要素の均一性(バランス)

■生産能力の増強計画(概要)

1) 米国タイヤ工場(TNA)

投資内容	【第5期能力増強】 TNA敷地内に新工場棟を建設、 新棟キャパシティ(年産240万本*)の1/2に生産設備を導入
総投資額	約140億円
投資計画	2018年2月に新工場棟の建設着工、2019年1月より生産設備の導入予定
稼働開始	2019年4月生産開始予定
追加能力	第1段階として年産120万本*

*乗用車用タイヤ換算

2) マレーシアタイヤ工場(TTM)

投資内容	【第2期能力増強】 TTM敷地内に新工場棟(現TTM工場棟に隣接)を建設、 新棟キャパシティ(年産480万本*)の1/2に生産設備を導入
総投資額	約210億円
投資計画	2018年8月に新工場棟の建設着工、2019年7月より生産設備の導入予定
稼働開始	2019年10月生産開始予定
追加能力	第1段階として年産240万本*

*乗用車用タイヤ換算

■ご参考(両工場の生産能力の増強経緯と計画)

1) 米国タイヤ工場(TNA)

増強計画	第3期 拡張	第4期 拡張	第4期 追加能力増強	新たな増強 【第5期拡張】
計画完了	2011年 8月	2015年 12月	2016年 10月	最終 キャパシティ
年産能力	650万本 体制	900万本 体制	1,150万本 体制	1,390万本 体制

2) マレーシアタイヤ工場(TTM)

増強計画	操業開始時	第1期 拡張	新たな増強 【第2期拡張】
計画完了	2013年 5月	2015年 7月	最終 キャパシティ
年産能力	250万本 体制	500万本 体制	980万本 体制

以上

【本件に関するお問合せ先】	東洋ゴム工業株式会社 広報企画部 (本社) TEL :072-789-9110 FAX :072-773-3272 (東京) TEL :03-5822-6621 FAX :03-3865-2240
---------------	--